

分科会の番号
20 p t

用紙サイズ A 4
範囲内に図なども使用可

上下余白
25mm

左右余白
20mm

①

亜高山帯針葉樹林のギャップ更新

トウヒの倒木更新を事例として

〇〇県立〇〇高等学校 〇〇〇〇

Information/北野の森

所属・氏名…フォント：MS明朝 サイズ：14p
タイトル、本文…フォント・サイズは任意

「北野の森」は小谷村北野地区にあ

ひとつとして癒しの遊歩道を整備し、ミズナラやブナの巨木を巡るツアーなどが行われています。同村の雨飾山周辺などにも広大なブナ林が広がっていますが、北野のブナ林は標高が 900m

程度と比較的低いことが特徴です。樹齢 200 年を超える巨木や、立ち枯れがギャップを形成し、天然更新していく様子も観察できます。かつては樹回り 6m、樹齢 400 年の見事なミズナラも森を形成していたのですが、2009 年あたりにはカシノナガクイムシが伝播する「ナラ枯れ」が



猛威を振るい、村中のコナラやミズナラの古木を多く枯れさせてしま

ました。ここ北野でも薬剤樹幹注入による防除策が念入りに行われていたのですが、多くの大木が枯れて生きた姿を見ることができなくなってしまい、非常に残念です。

